

講義名	商業簿記		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	島田 奈美		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限 / 後期 金曜日 4時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	4
		講義コード	23096

主題と概要

本講義は、商業簿記（日商簿記検定3級レベル）の履修者を対象に、日商簿記検定試験2級（商業簿記）の範囲のうち主要なテーマを学習します。株式会社を前提とした一般的な取引（商品売買など）から決算の手続き、財務諸表の作成までの主要な範囲を学習します。本講義では株式会社における取引や関連する制度についても説明し、それを簿記上でどのように処理していくのかを問題演習を通じて学習します。

到達目標

日本商工会議所主催の簿記検定試験2級の主要な内容について理解するとともに、簿記の基本的な仕組みを理解することができるようになる。

提出課題

現時点では課す予定はありませんが、講義の進捗度や学生の理解度に応じて課す可能性があります。

評価の基準

以下の点を総合して評価します。出席回数を平常点に付加することはありません。
・中間テスト（講義時間中2回実施）60%
・期末テスト 40%
テストの日程などの詳細は第1回講義時に説明します。

履修にあたっての注意・助言他

・第1回目は成績評価の方法や講義の進め方についての説明をするので必ず出席してください。
・第1回目から講義を開始するので必ず出席してください。
・積み上げ型の講義なので、欠席が続いたり、復習をおろそかにした場合、突然講義内容が理解できなくなる可能性があります。
・簿記は、教員の説明をただ聴き、板書するだけでは理解できません。講義時間中に与える演習問題を積極的に解くことで知識を定着させ、その過程で理解が難しいものについては教員に質問し、テストに向けて講義時間外でも自習できる学生以外は単位取得は困難です。
・本講義は商業簿記を履修した学生及びそれに相当する学生を対象としています。本講義にて簿記を一から学びたいという要望にはお応えできません。基礎簿記または商業簿記を履修してください。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

毎回資料を配布しそれに基づいて講義を実施します。
資料は、講義内容を聴きながら必要事項を記入して初めてテキスト代わりになるものです。
よって、欠席した回の資料は配布しません。以下の参考書などで各自内容の理解に努め、次の回に備えてください。

参考書：『よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト 日商簿記2級商業簿記 Ver.12.0』TAC出版

授業計画

1. 講義全体の説明と3級の復習
2. 簿記一巡の手続き
3. 損益計算書と貸借対照表
4. 商品売買
5. 商品売買
6. 商品売買
7. 現金および預金
8. 現金および預金
9. 債権・債務
10. 債権・債務
11. 復習・まとめ
12. 中間テスト
13. 有価証券
14. 有価証券
15. 有形固定資産
16. 有形固定資産
17. 有形固定資産
18. リース取引
19. リース取引
20. 無形固定資産等と研究開発費
21. 復習・まとめ
22. 中間テスト
23. 引当金
24. 外貨換算会計
25. 税金
26. 株式の発行
27. 剰余金の配当と処分
28. 決算手続
29. 収益・費用の認識基準
30. 復習・まとめ

予習・復習

担当教員の指示に基づき、各回に配布された資料を確認しながら問題を解いてください。
必要に応じて教員が復習用の問題を配付することがあります。

備考

学習の進捗具合により、授業計画が変更になることがあります。
中間テストの日程及び内容については授業時間およびポータルで告知します。確認してください。